

金沢東部環状道路の4車線化および 能越自動車道輪島道路の新規開通に関するお知らせ

金沢河川国道事務所が整備を進める事業の開通日について、下記2事業を併せてお知らせします
なお、開通時間等については、詳細が決まり次第お知らせします

①国道159号 金沢東部環状道路(山側環状)

つきうらまち かみやちまち

月浦町～神谷内町間

8月11日(金・祝)4車線化

②国道470号 能越自動車道 輪島道路

のうえつ わじま

のと三井IC～のと里山空港IC

9月16日(土)開通

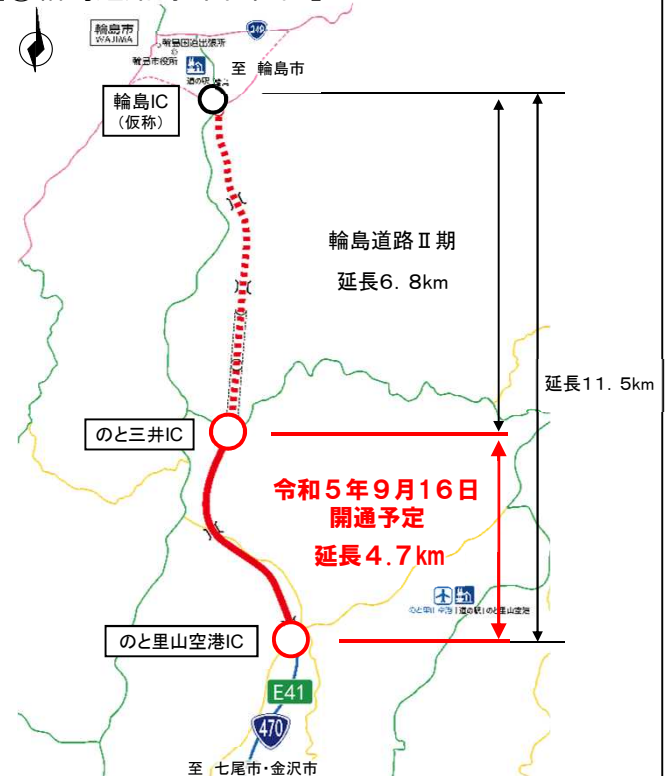
【①金沢東部環状道路 事業位置図】



金沢東部環状道路4車線化による整備効果

- 【効果①】月浦町～神谷内町間の渋滞の緩和が見込まれます
- 【効果②】産業活動の更なる活性化が期待

【②輪島道路 事業位置図】



輪島道路開通による整備効果

- 【効果①】災害に強いネットワーク形成と救急救命活動支援
- 【効果②】観光、交流人口の拡大による地域の活性化が期待

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 事業対策官

坂本 誠一

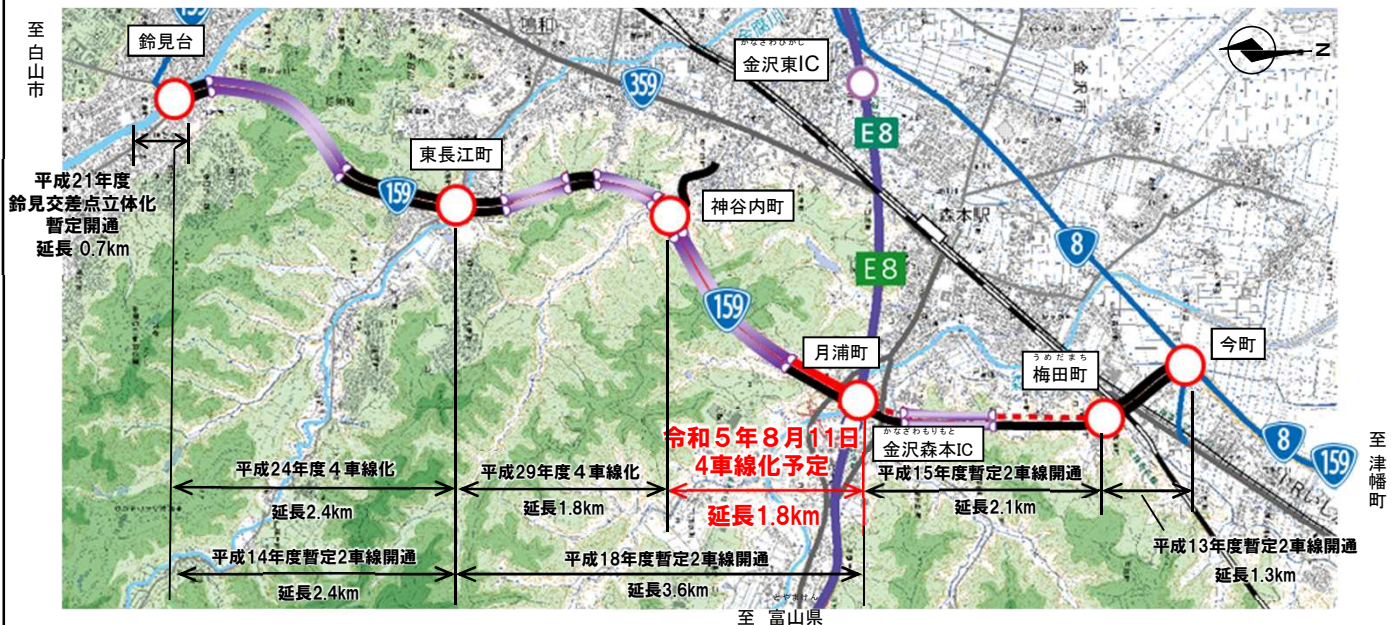
住所 : 金沢市西念4丁目23番5号
電話 : 076-264-9912(計画課直通)
FAX : 076-233-9631

国道159号 金沢東部環状道路(山側環状)の概要

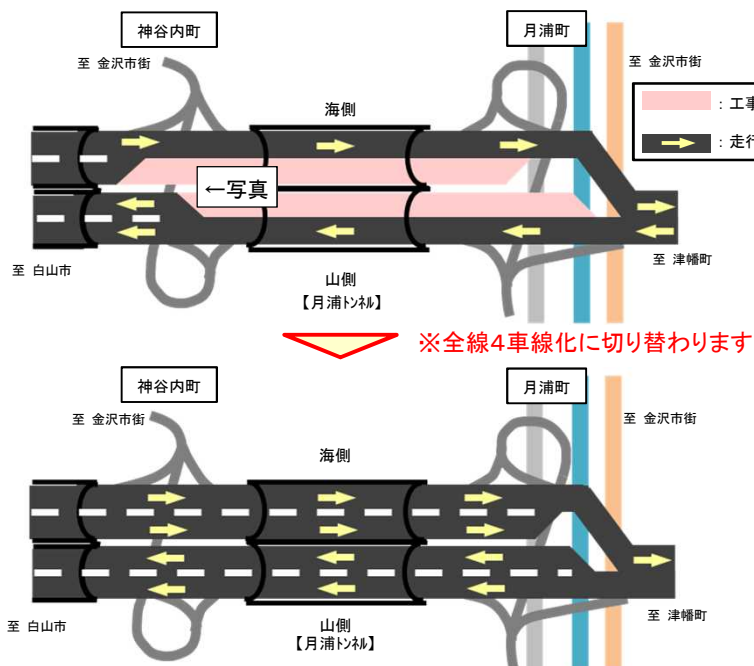
- 金沢東部環状道路は、金沢市今町を起点とし、同市鈴見台を終点とする延長9.4kmの道路です。
- 金沢都市圏を囲む外環状道路(山側環状)の一部として機能し、金沢中心部を通過する交通を迂回させることで、渋滞緩和に大きく寄与します。
- 昭和62年に事業化し、平成18年度全線暫定2車線開通しました。その後鈴見台から順次4車線化の工事を進めて行きます。

■ 事業経緯

昭和62年	事業化	平成24年12月	東長江町～鈴見台間の4車線化完了
昭和63年	用地着手	平成29年12月	神谷内町～東長江町間の4車線化完了
平成 3年	工事着手	令和 5年 8月11日 月浦町～神谷内町の4車線化完了予定	
平成18年4月	全線暫定2車線開通		



4車線化に伴う走行車線の変更



4車線化工事状況



国道470号 能越自動車道 輪島道路(のと三井IC～のと里山空港IC間)の概要

す へ

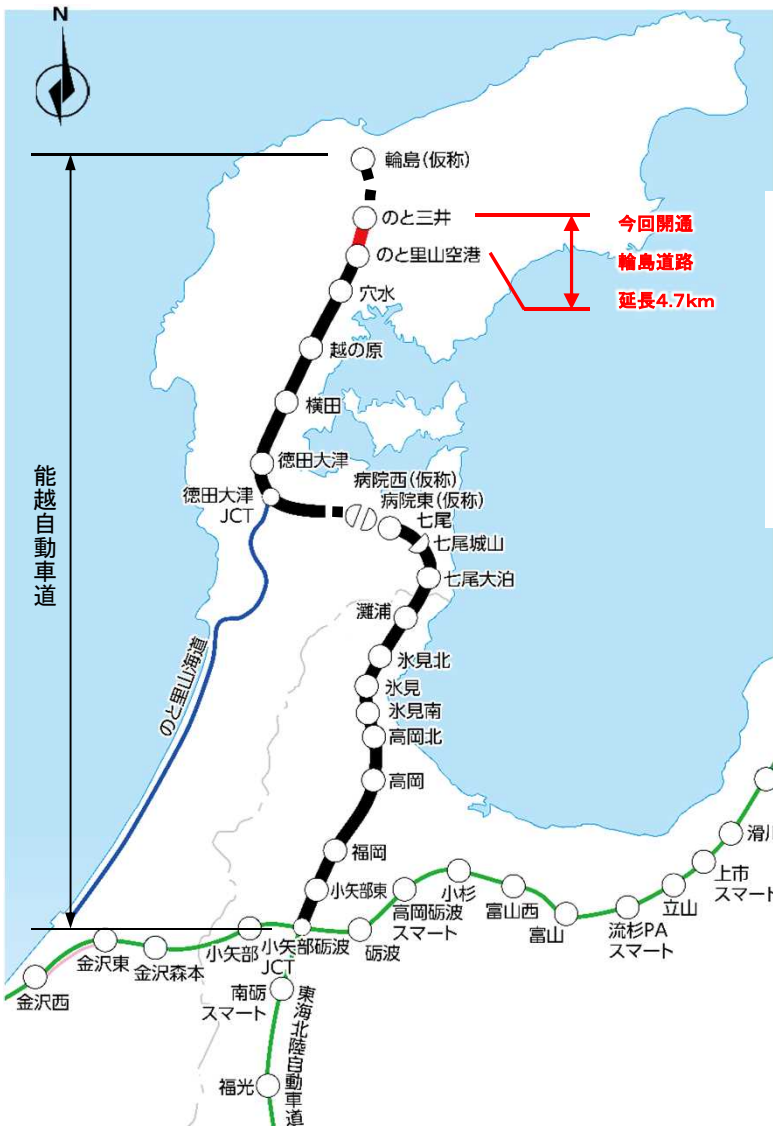
- 能越自動車道の一部を構成する石川県輪島市三井町本江から同市三井町洲衛までの延長約4.7kmの高規格幹線道路です。
- 高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成、第三次医療施設へのアクセス向上、地域の発展・観光の活性化などを目的としています。
- 平成18年度に事業化し、平成25年度に工事着手をしています。

延長: 4.7km

事業経緯：平成18年度 事業化

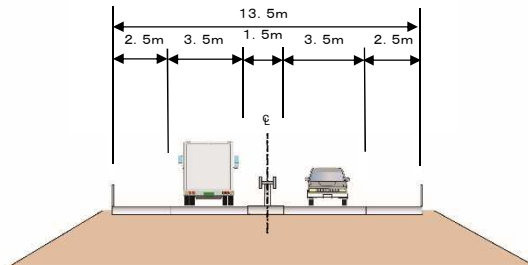
平成25年度 工事着手

令和5年9月16日 暫定2車線開通予定



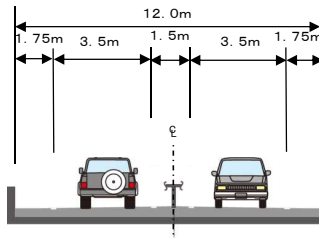
標準横断図(暫定2車線)

土工部



※上図は代表的な断面図です。

橋梁部



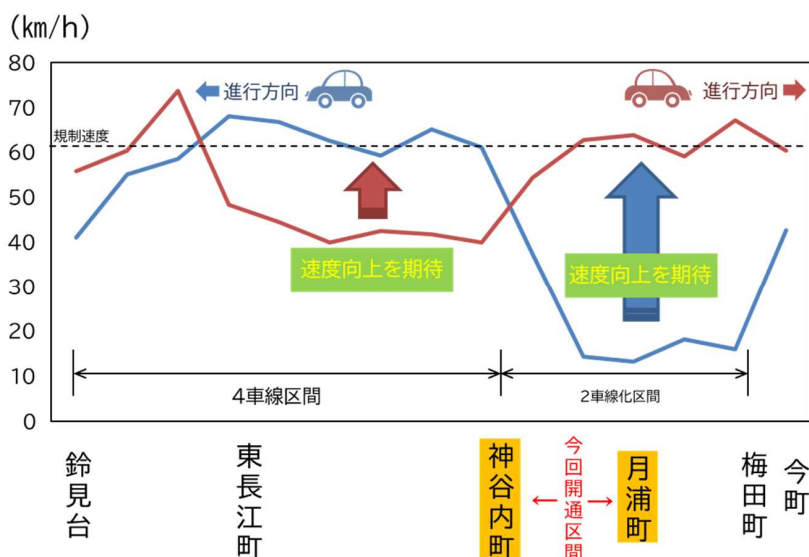
※上図は代表的な断面図です

金沢東部環状道路（月浦町～神谷内町間）4車線化で期待される効果

整備効果① 月浦町～神谷内町間の渋滞の緩和が見込まれます。

- 神谷内町付近では、通勤時間帯に走行速度が低下し、渋滞が発生する箇所があります。
- 4車線化により車の流れがスムーズになり、**渋滞の緩和が見込まれます。**

金沢東部環状道路の朝の通勤時間帯の走行速度



【凡例】

- 鈴見台 → 今町方面へ移動する車両の走行速度
- 今町 → 鈴見台方面へ移動する車両の走行速度

※プローブカーによる旅行速度
令和5年5月9日(火)～5月11日(木)の7～9時

渋滞発生状況(神谷内町)



渋滞発生状況(月浦町)



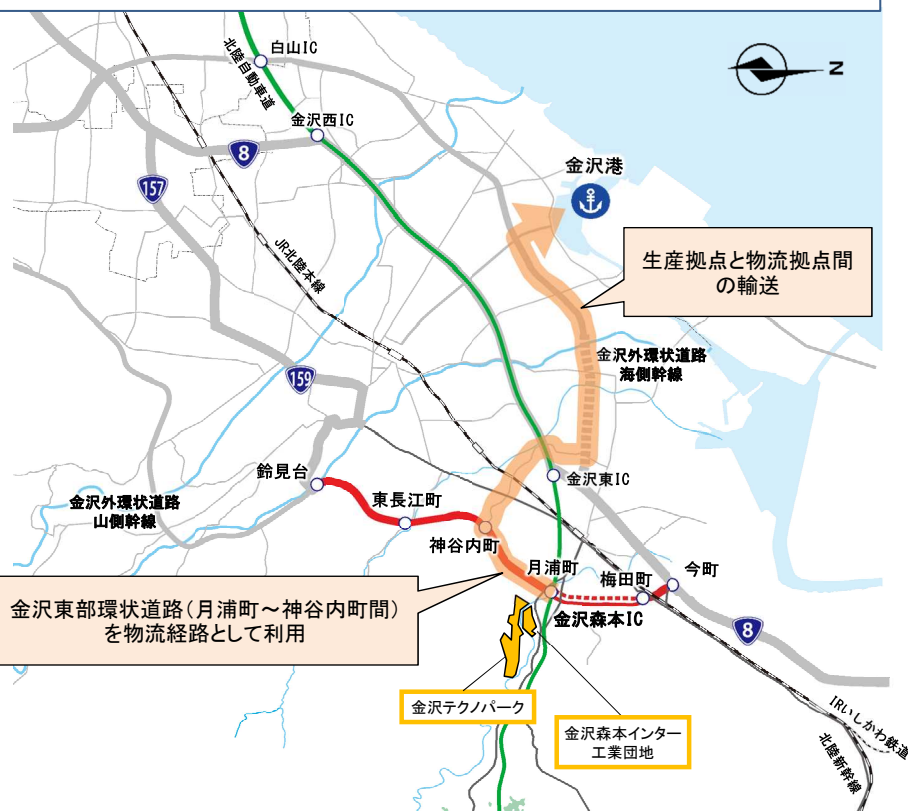
整備効果② 産業活動の更なる活性化が期待できます。

- 金沢森本ICに隣接する、金沢テクノパークや金沢森本インター工業団地では、進出企業が年々増加しており、多くの企業の工場が操業中です。
- 月浦町～神谷内町間の4車線化により、**物流の効率化など、企業の生産活動の支援により、産業活動の活性化が期待**できます。

金沢森本IC周辺



金沢テクノパーク、金沢森本インター工業団地への企業進出数の推移(累計)



輪島道路の開通によって期待される主な効果

整備効果①

災害に強いネットワークの形成と救急救命活動を支援します。

- 並行する道路との複線化により、災害時においてもネットワークの信頼性が向上し、**地域の安全・安心が確保**されます。
- 能登地域で唯一の第三次救急医療施設である、公立能登総合病院への救急搬送時間を短縮することができ、**迅速な救急救命活動を支援**します。



公立能登総合病院
能登地域で唯一の
第三次救急医療施設



第三次緊急医療施設とは… 都道府県の医療計画に基づき、都道府県知事により指定され、救命救急医療機関として位置づけられたもの。重篤患者への医療を担当し、地域の救急患者を最終的に受け入れる役割を果たす。

整備効果②

観光、交流人口の拡大による地域の活性化が期待できます。

- 能登北部地域へのアクセス性が向上し、高規格道路や北陸新幹線と連携することによる三大都市圏と交流促進を図ります。
- 能登北部地域の観光客増加など、観光面でのシャワー効果が期待できます。

